



## 「部材供給」と「廃棄物回収」の往復輸送によるCO2削減取り組み

### 事業者（◎：代表者）

- ・ パナホーム株式会社◎
- ・ 株式会社筑波物流
- ・ 株式会社西塚物流
- ・ 株式会社マルミヤ
- ・ 三岐通運株式会社
- ・ 有限会社木戸口運輸
- ・ 下田運輸株式会社
- ・ 双葉運輸株式会社
- ・ 株式会社九軌

### 事業概要

本事業は、部材供給と廃棄物回収の往復輸送の中継基地を設け効率的な運用を図ることにより、車両の大型化と台数の削減等グリーン物流の更なる普及拡大に向けた物流システムを構築、全国展開してCO<sub>2</sub>排出量の削減を達成した。

### 本取組のポイント

- 「部材配送」と「廃棄物回収」を複合したデポ拠点として「ECOセンター」を設立し、①多便配送の中継拠点、②廃棄物回収と分別排出、③配送スタッフ・助手による荷上げ業務、④建設管理業務の集中代行の機能を担わせた。
- その結果、①部材配送車両の固定化による配送費用の削減、②配送スタッフ・助手活用による現場部材荷受費用の削減、③現場産業廃棄物の収集・運搬費用の削減、④現場産業廃棄物の処分費用の削減、⑤現場監督の管理工数削減が可能となり、全国7拠点に展開。

◎ CO<sub>2</sub>排出削減量 127.0トン

◎ CO<sub>2</sub>排出削減率 31.7%

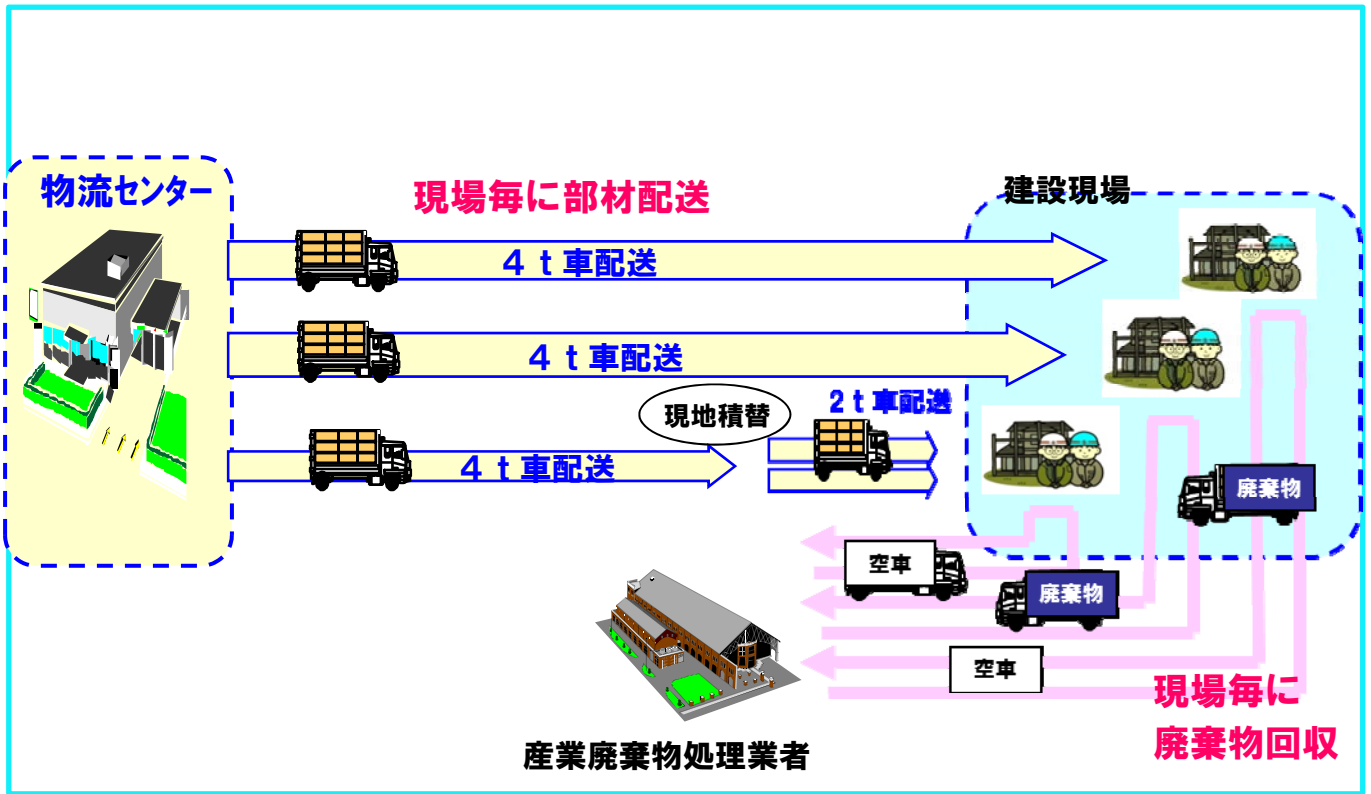


物流センターから幹線輸送された資材をECOセンターで積み替えて建築現場に配送

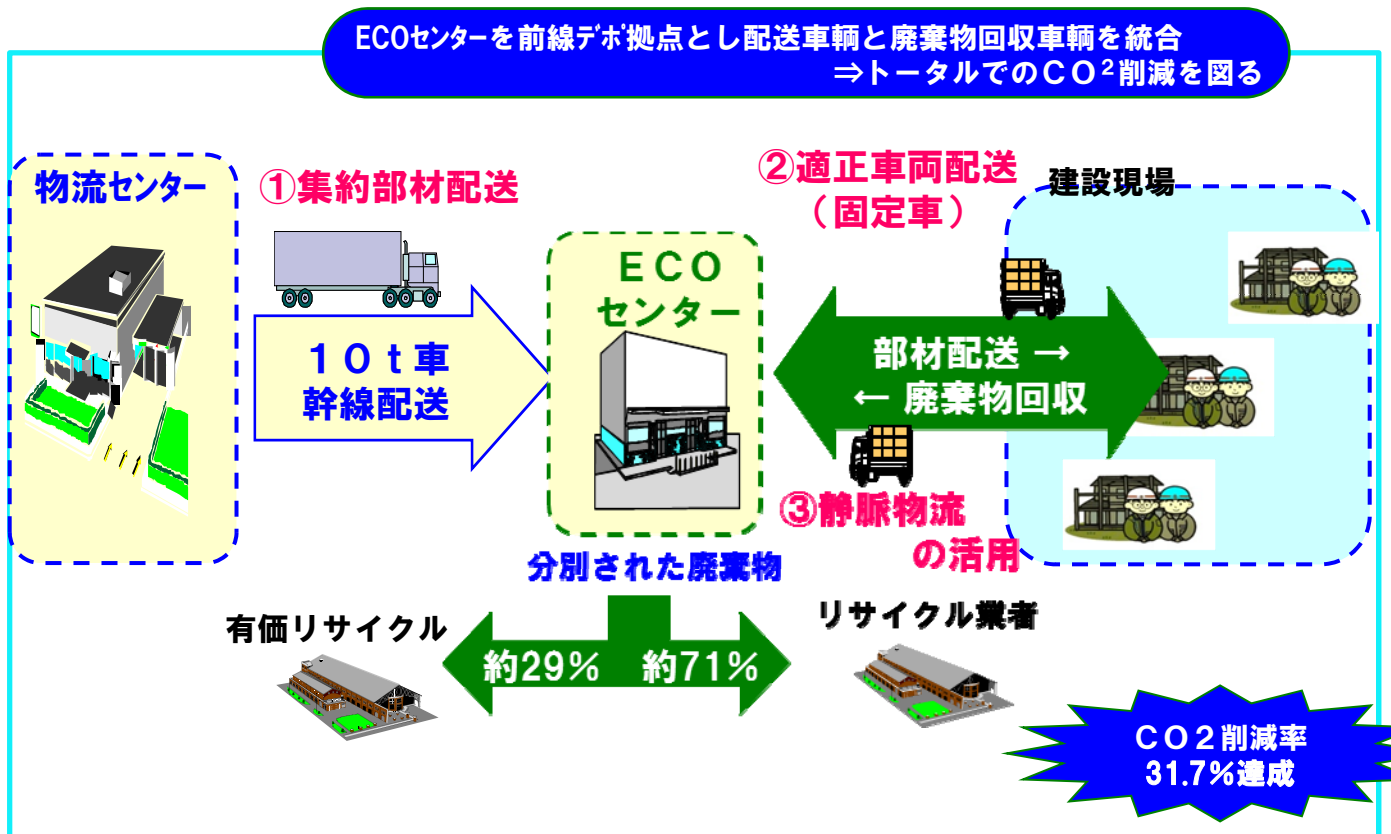


建築現場で回収した廃棄物をECOセンターで分別

# 実施前



# 実施後





## CO<sub>2</sub>削減を可能とする家電物流効率化モデル

### 事業者（◎：代表者）

- ・三井倉庫ロジスティクス株式会社◎
- ・シャープ株式会社
- ・株式会社富士通パーソナルズ

### 事業概要

本事業は、複数の家電メーカーから各量販店への異なる製品配送システムを一元化するとともに、配送拠点を集約化することにより、大規模な共同配送を実現し、CO<sub>2</sub>排出量の削減を達成した。

### 本取組のポイント

- 大規模な共同配送を実現するにあたり、家電メーカー各社独自の製品配送システムを一元化するため、EDIを核としたラベル情報の疎通管理等を行うシステムを開発した。
- 共同配送に参加した企業間における情報の機密性の担保や、納品先への配送ルートや時間帯の最適化等の課題について、物流事業者、家電メーカーを中心に数々の検討を重ね、協力したことにより実現した取組である。

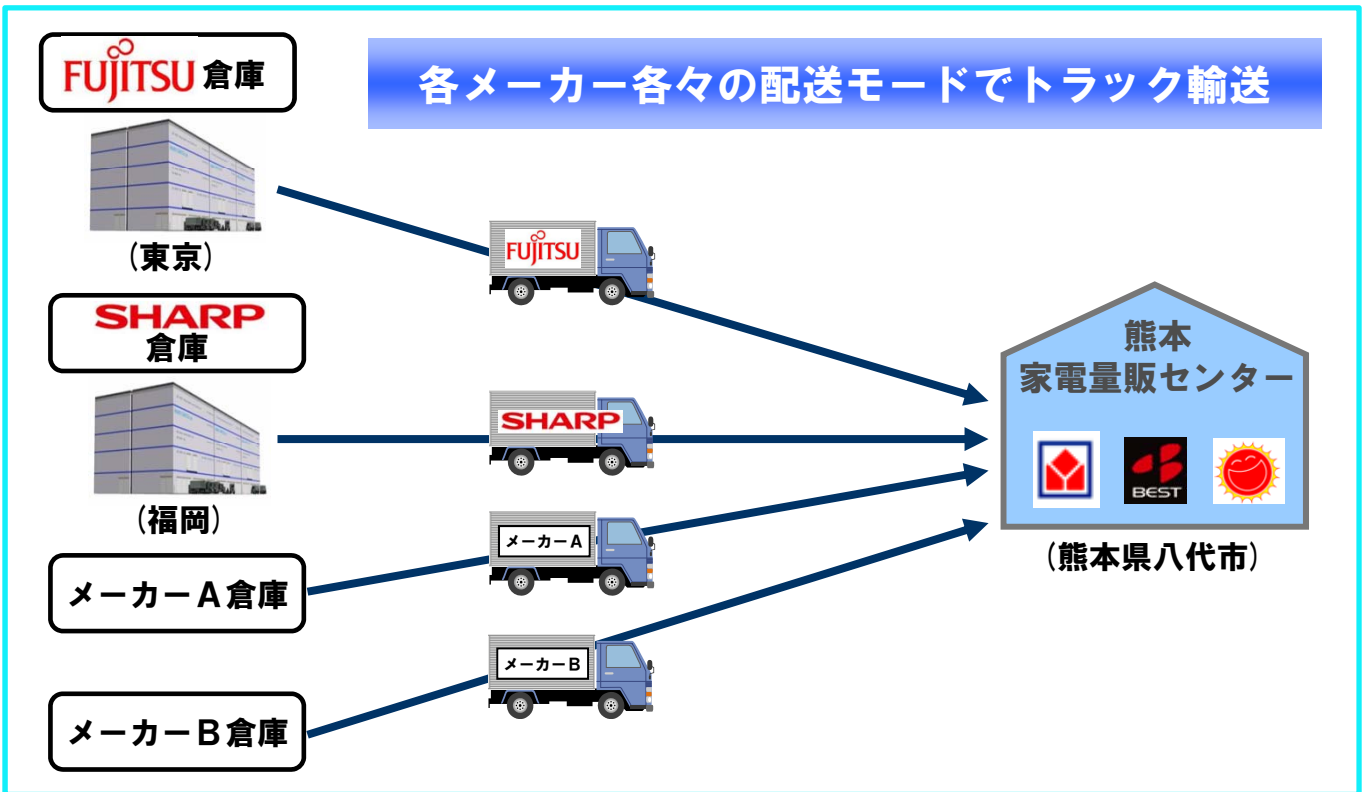
◎ CO<sub>2</sub>排出削減量 22.9トン

◎ CO<sub>2</sub>排出削減率 40.6%

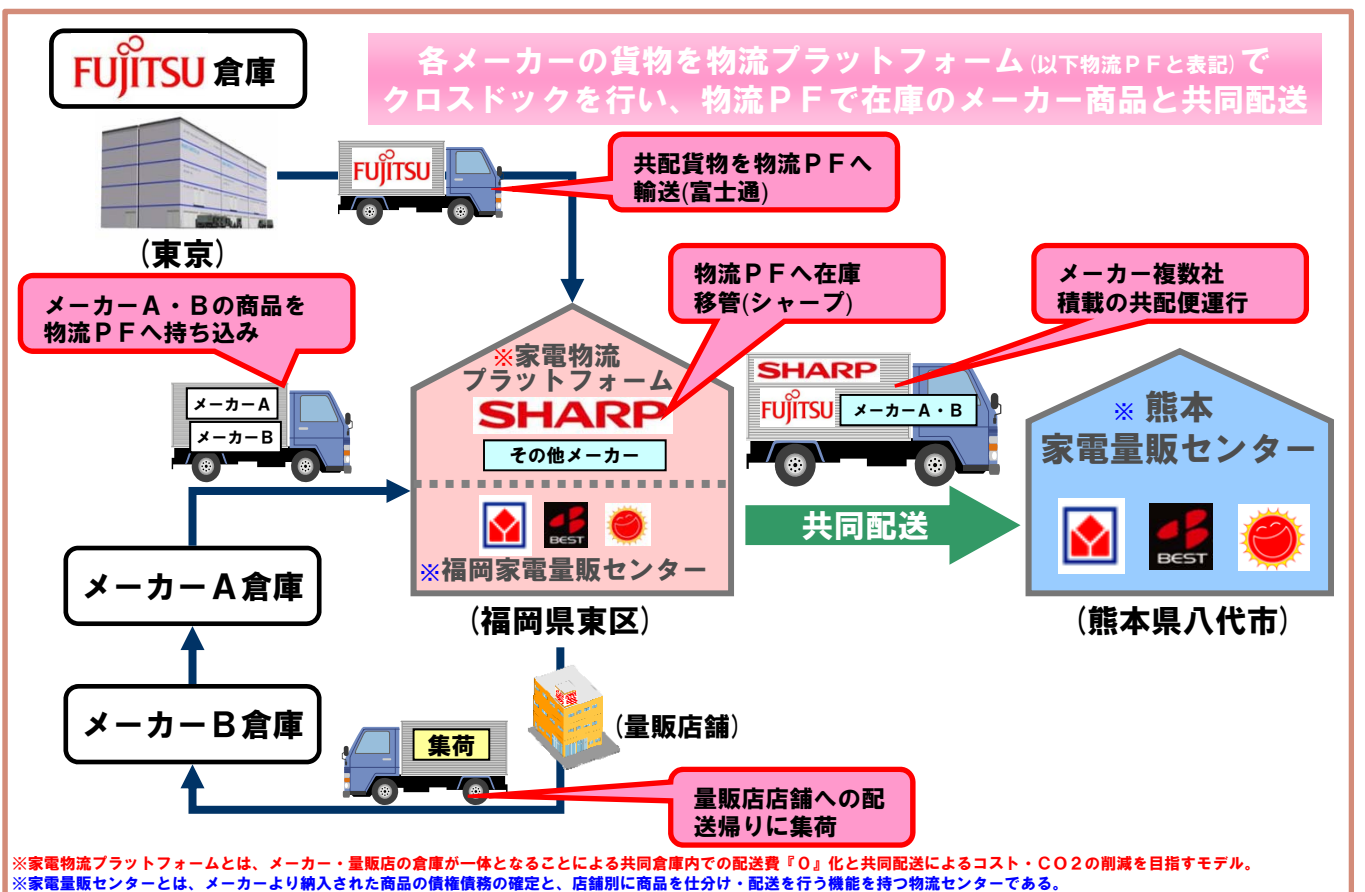


福岡で複数メーカーの家電製品を積み込み、共同配送

## 実施前



## 実施後



※家電物流プラットフォームとは、メーカー・量販店の倉庫が一体となることによる共同倉庫内での配送費『0』化と共同配送によるコスト・CO2の削減を目指すモデル。  
 ※家電量販センターとは、メーカーより納入された商品の債権債務の確定と、店舗別に商品を仕分け・配送を行う機能を持つ物流センターである。